

ごけん

平成 30 年

春

号

日本語検定 実施予定

平成 30 年度第 1 回 (通算第 23 回)

[一般会場] 6月9日(土)

[準会場] 6月8日(金)・9日(土)

[申込期間] 3月1日(木)～5月11日(金)

後 援：文部科学省／日本商工会議所

経団連事業サービス／全国連合小学校長会

全日本中学校長会／全国高等学校長協会

全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会

全国高等学校国語教育研究連合会

日本 PTA 全国協議会

全国高等学校 PTA 連合会

日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほごん」

もくじ

ごけんインタビュー 畝本 宜尹—— 2

ごけん情報板—— 4

採点室から—— 5

表彰受賞者の声—— 6

第 9 回日本語大賞 表彰式—— 7

受検団体の声—— 8

にほごんになかまが増えました — 10

受検案内／プレゼント・クイズ— 12

特定非営利活動法人

日本語検定委員会



正確で簡潔な日本語が 乗客の安全を守る

安全性を高めるには 日本語力が不可欠

“パイロットはすべて英語で話す”というイメージがあるようです。もちろん、管制官との情報交換に使う用語や、国外で間違いのない意思の疎通を図る言語として、国際ルールで決められている公用語（英語）を使います。一般的な英会話というより、いわばツールとしての英語ですね。

一方、日本の航空会社では、仕事相手は日本人のクルー、整備士、管制官、ディスパッチャー（運航管理者）、客室乗務員ですから、圧倒的に日本語を使う機会が多いのです。安全を守るためにも、誤解を招かない正しい日本語、意思を明確に伝える話し方、そのための語彙力が要求されます。

過去に言葉の行き違いとコミュニケーション不足に起因した大惨事がありました。1977年、スペイン領テネリフェ島で起きた「テネリフェの悲劇」。霧で視界が悪い中、ジャンボ機同士が地上で衝突し583名の犠牲者を出した、史上最悪の航空事故です。管制官は「3番目の誘導路を

左に曲がれ」と指示したのに対し、パイロットは「3番目だね」と復唱していました。ところが、移動中の機体は既に1番目の誘導路を過ぎており、実際には4番目を曲がろうとして、滑走路上で2機が衝突。

なぜ、管制官は“滑走路の端から3番目”と指示しなかったのか、なぜパイロットは“手前から3番目なのか奥からなのか”を確認しなかったのか。いずれにしても情報の伝達も確認も不正確。今も安全教育のコミュニケーション事例としてパイロットの授業では必ず学びます。

私が学生に対して「正確にものを言いなさい。曖昧な言い方はやめようね」と口うるさく言うのも、曖昧なコミュニケーションが多くての事故を引き起こしているからです。学生は単語で話す傾向にありますが、“それでどうした”、“だからどうした”という文章化した会話でなければ、正しい情報の伝達と共通の状況認識はできません。

さらに、ライセンス取得にも直結します。パイロットの国家試験では、試験官の前で航空法に定められた確認事項をブレゼンテーションしなければならず、正

確かつ簡潔明瞭な説明が求められます。ぶっつけ本番ではできません。普段の言葉選び、話し方、選択肢となる語彙を磨いておく必要があるのです。日本語力が不可欠な職種ですが、残念ながらパイロット育成のカリキュラムには日本語教育がありません。『日本語検定』などのテキストに基づいて学ぶ日本語の時間は必須だと思います。

真摯な言葉選びは 相手への心遣い

パイロット歴41年の間には自然現象によるトラブルも経験しましたが、異常時ほど乗客の心情を察した言葉選びを心がけてきました。

ある時、悪天候の中で着陸したものの視界が遮断されるほどの豪雨と雷に見舞われました。避雷のため地上係員の誘導は無く、タラップ車も来ない。搭乗者は機内に閉じ込められたまま時間だけが経過する。“この状況がいつまで続くのか”。不安が募る乗客の気持ちを自分に置き換え、“もし、自分が乗客ならどんな情報を欲するか”を念頭に置き、タイムリーで聞き手が納得する言葉を選んで伝えることに徹しました。要望に応じ、機内での携帯電話の使用も認めました。

その後の見通しについては、「5分後に情報が入ります」と時間を具体的に伝え、「空が少し明るんできましたので雷雨も抜けつつあります。もうしばらくお待ちください」と希望的な要素も添えました。当然といえば当然ですが、とことん乗客の立場に立つことに尽きると思ったんです。相手に寄り添う毅然とした言葉選び

が、いかに大切かを改めて痛感しました。

日本語検定でレベルを知るのも 有効な手段

瞬時に正しい言葉を選ぶというのは、個々の持つ語彙力や表現力が総合的に表れます。特に語彙力。語彙力を増やすためにも読書は大事。若い頃に読んだものでも頭のどこかに残ってたりします。興味のある分野を読みあさるうちに、日本語や言葉に関心を持つようになる。また、自身の日本語のレベルを知るには、客観的な判断に基づく『日本語検定』へのトライもお勧めです。結果を見て、“これじゃダメだな”と思えば改めて日本語を学ぶきっかけにもなります。僕も1級への初挑戦が不合格だった時は悔しくて、“次は合格してやろーじゃない！”と。不合格がかえって励みやモチベーションになりました。

“日本語力の底あげ”という『日本語検定』の趣旨には今後も多くの人の目が向けられると思います。なかでも力を入れて欲しいのが、敬語。敬語が疎かになっている現代だからこそ丁寧に導いてほしい。日本人の繊細な心を表す普遍的な日本語として、さらに手厚く、中高生にも解りやすいテキスト作りを心がけて欲しいですね。

畝本 宜尹（うねもと のぶまさ）

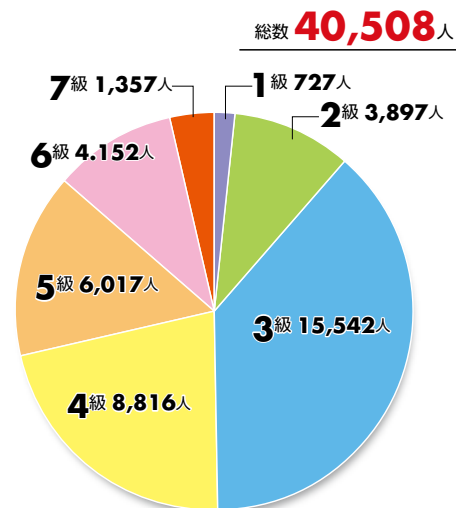
立教大学文学部英米文学科卒業。1970年全日本空輸株式会社入社。ヘリコプター部でNHKをはじめとする報道取材飛行に従事した後、1974年旅客機部門に転出し各機の操縦資格を取得する。2005年アイベックスエアラインズ株式会社を経て、2010年3月よりヘリコプターパイロット養成コースを有する帝京大学理工学部宇宙工学科にて教鞭をとり現在に至る。総飛行時間は約18,200時間。日本語検定1級の資格を持つ。ユーモアを交えた巧みな話術とチャarmingな人柄が印象的。

ごけん情報板

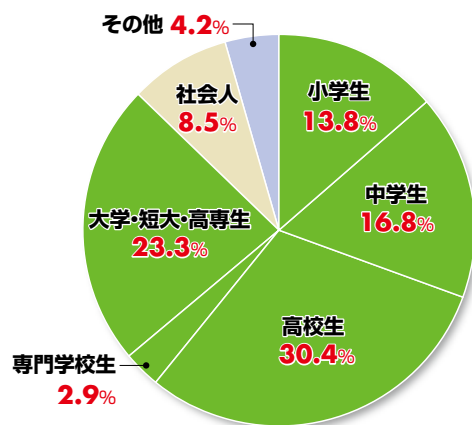
このコーナーでは、昨年11月に実施いたしました、平成29年第2回（通算第22回）日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

◎平成29年度第2回（通算第22回）日本語検定

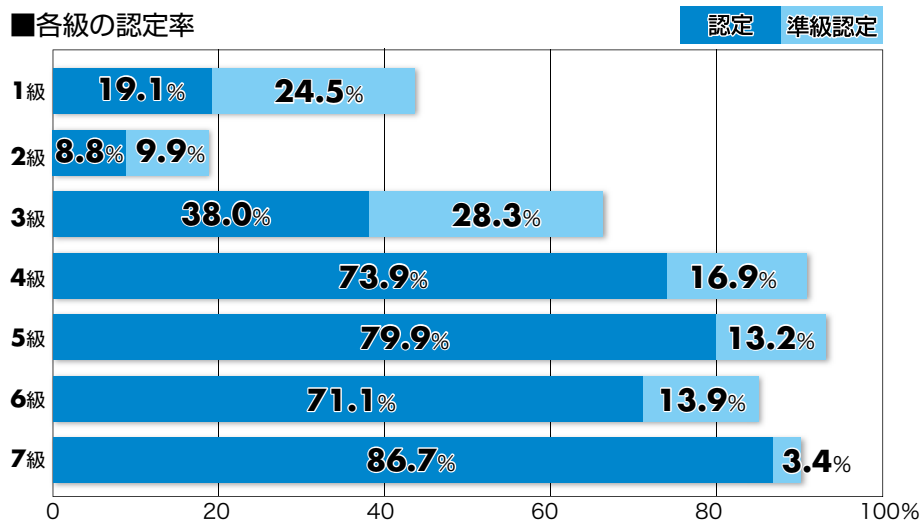
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の属性別割合



■各級の認定率



採点室から

29年度第2回の問題より

2～4級で正答率が低かった問題をいくつか紹介します。

○2級より

() に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

失言を繰り返す大臣の辞任が報じられたわずか三日後に、踵を() 今度は与党の国会議員が収賄容疑で逮捕された。

[1 介して 2 接して 3 かえして 4 のばして] (答え: 2 - 正答率 5.4%)

★「接して」と結び付いた、「踵を**接して**」が適切です。「踵」はかかとのことで、「踵を接する」は、ある物事が生じてから、ごくわずかの間に、それと関連したほかの物事が生じることを表します。この問題では、80%近くの人々が「かえして」を選んでいました。「かえして」も「踵を」と結び付きませんが、「踵をかえす」は、引き返すという意味です。

□に入る適切な漢字一字を楷書で書いて、四字熟語を完成させてください。

敦賀の「気比の松原」は白□青松の景勝地で、日本三大松原の一つとして知られる。

(答え: 砂 - 正答率 25.9%)

★「白**砂**青松」は「はくさせいしょう」または「はくしゃせいしょう」と読みます。白い砂と青い松。美しい海岸を形容するのに用いられます。誤答としては、「梅」「雲」「波」「浜」などがありました。

○3級より

次のようなことを言うとき、() に入る言葉として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

明智光秀がなぜ謀反を起こしたかは、諸説があっ**て**いまだに() としないようだ。

[1 歴然 2 判然 3 枳然] (答え: 2 - 正答率 37.3%)

★「**判然**」は、他と紛れる点がなく、物事が明確に捉えられる様子をいいます。謀反を起こした理由がはっきりしないということで、これが適切です。50%以上の人々が「枳然」を選んでいました。「枳然」は、疑いや迷いがなくなって、すっきりする様子を言います。

○4級より

次の文には、パソコンで入力したときの変換ミスがあります。誤っている表記を含む言葉の正しい書き方を、楷書で記入してください。

(例: バスは定刻どおりに発射した。 解答●発車)

その人気ロックグループの十年ぶりの来日公演は、三日間で述べ約十万人の観客を動員した。

(答え: 延べ - 正答率 20.9%)

★同じ人や物事が重なっていても、それぞれ一人または一つと数えることをいう、「**延べ**」が正しい書き方です。誤答としては、「公演」をあやまりとして、「構演」などがありました。ふだん、あまり漢字で書かれているのを見ない言葉だったかもしれません。

テレビのアナウンサーが使う言葉や、新聞記事で目にする言葉でも、「この使い方は正しいのかな?」と疑問に思うことがありませんか。「プロ」が使っているからといって必ずしも正しいとはかぎりません。疑問に思ったときには、国語辞典を使って（できれば、紙の辞書引いて）、その言葉の正確な意味、用法を確認することをお勧めします。これまで見落としていたことを知るいい機会になるかもしれません。

平成29年第2回日本語検定「文部科学大臣賞」を受賞して



宮城学院女子大学学芸学部 日本文学科長 深澤 昌夫先生

この度は日本語検定初挑戦にして、思いがけず文部科学大臣賞というこの上ない賞を頂戴し、学生たちはもちろん教職員一同たいへん驚いております。関係の皆様には心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

宮城学院は明治19年（1886）に創設されたミッション系の女子校です。私も日本文学科は戦前の高等女学校時代から現在に至るまで、終始一貫「国語」「国文」「日本文学」の看板を守ってまいりましたが、昨今特に重視しているのは「社会人にふさわしい適切で的確な日本語運用能力の習得」です。世の中には「日本人なら日本語が読めて、書けて、話せて当たり前」という思い込みがあるように思います。しかし、この「当たり前」が実に難しい。時と場合、状況や関係に応じて、日本語を適切、的確に使いこなすというのはそう簡単なことではありません。であればこそ、日本のことばと文化を学ぼうという学生たちには最低限、社会に出て恥ずかしくない日本語力を身につけてもらいたい。そうして「すぐれた日本語使い」を育成し、社会に送り出すことが我々の責務であると考え、その客観的な指標になるものとして今回日本語検定を受検させていただきました。受検者は100名超。2年生のほぼ全員です。学生たちにとっては日頃の成果と実力を客観的に評価していただき、かつまたこのような名誉ある賞までいただいて、きっと自信がついたのではないかと思います。大きな励みになると思います。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

第9回日本語大賞 表彰式

テーマ：「ちょっと気になる日本語」

去る3月4日、第9回「日本語大賞」（主催：日本語検定委員会）の表彰式が、東京都北区の東書ホール（東京書籍本社）で行われ、文部科学大臣賞4人が表彰されました。

計3,009点の応募の中から、第一次、第二次、最終審査に亘る厳正な審査の結果、4部門それぞれで、文部科学大臣賞、優秀賞、佳作が選ばれました。



文部科学大臣賞

小学生の部 彼末 聞人さん 「残心」
湘南ゼミナール 鴨居教室 小学6年

中学生の部 城田 佳穂さん 「適当スープ」
大阪教育大学附属池田中学校 2年

高校生の部 喜友名 桃子さん 「ちょっと気になる日本語の正体」
沖縄県立普天間高等学校 2年

一般の部 工藤 可絵さん 「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」

表彰式は、審査委員でフリーアナウンサーの梶原しげるさんが司会進行をしました。主催者代表の梶田叡一理事長の挨拶に続き、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課の伊佐敷真孝民間教育事業振興室長より、文部科学大臣賞が授与され、審査員代表の吉元由美さんが全体講評をしました。

*文部科学大臣賞と優秀賞の作品は、日本語検定公式ホームページでご覧いただけます。

私の日本語を褒めてほしい！

石上国語教室 石上 孝子先生



当教室は静岡で二十年以上国語教育に携わっています。最近では、受験形式の多様化から小論文や感想文の指導を行うことが多くなってきました。指導の中で、特に感じることは、自分の気持ちや考えを言葉で表現できない生徒が増えてきていることです。今後、国際化が進む中で、自分の気持ちや考えを表現することができないことは大きな弱点となってしまうのではないのでしょうか。

その背景には、日本語に関する関心が低下していることが考えられます。国際化によって、英語教育には力を入れる場合が多いですが、日本語はもう十分に学習できていると考えているのか、不当に扱われていることが多いように感じています。しかし、日本語に対する深い理解が、他言語に対しても深い理解を生むのではないのかと考えています。なぜなら、日本人の多くは、日本語を基礎にして他言語を学んで行くからです。

そこで、どのようにしたら、日本語について深く学ぶことができるのか考えていたところ、「日本語検定」というものに出会いました。「日本語検定」は、文法や敬語など様々な領域に分かれているため、自分の苦手なところを明確に分析することができ、次の学習につなげることができます。日本語の学習には終わりがなく、生涯をかけて能力を伸ばしていくことが可能です。言葉を世界で生きるための力にできるように、今後も日本語検定の受検を勧めていきたいです。

自分の想いを伝えるために

学校法人山口コア学園 山口コ・メディカル学院
理学療法学科 村上 博子先生



当校は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリテーション専門職を養成する4年制の専門学校です。日本語検定を受検するようになったきっかけは、10数年前から、敬語が上手く使えないために、臨床実習で苦労した学生が増えたからです。医療系の学校の多くは、学内教育と学外教育(病院での実習)の2本立てで教育を行っていますが、実習となると、学生であっても、患者様の前では有資格者並みの接遇が求められます。場に合わせた会話ができずに“寡黙”でおとなしい実

追手門学院小学校の取り組みについて

追手門学院小学校 桂 薫先生



追手門学院小学校は明治21年(1888年)大阪偕行社附属小学校として設立され、今年度で創立130年を迎える西日本で最も古い私立小学校です。礼儀を重んじる校風で、特に言葉遣いは厳しく指導しています。その一環として、美しい日本語を話させたい、また、総合的な国語力を身につけさせたいとの思いから日本語検定の受検を奨励しています。

本校では、ここ数年の間にいくつかの学年でプレテスト(団体特別試験)の全員受検を実施しています。このプレテスト受検は、児童が本検定にチャレンジしてみようかと興味を持ったり、受ける級の見当をつけたりと、本検定受検に取り組むきっかけになっています。担任としても、児童の弱点や、普段のテストでは図ることのできない国語力が分かり、その後の指導に役立てることができています。

本検定の申込書を配る時に「日本語検定過去問題集購入申込書」も配っています。過去の検定で実際に使用された問題冊子(答案用紙、解答解説付き)を使って、本番と同じように事前対策ができることから、初めて受検をする児童はほぼ全員申し込んでいます。

また、本校では毎回合格者の中から、読売新聞社賞や時事通信社賞を複数名受賞しています。校内でも表彰しているので、合格するだけでなく、より高い得点を目指して受検の準備を各自がしています。

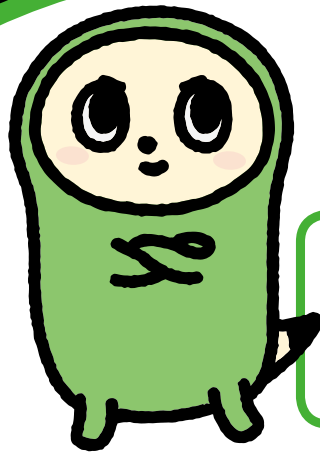
今後も多くの児童が、日本語検定にチャレンジすることを通して幅広い国語力をつけてくれることを願っています。

習生という印象を与える学生が増えてきました。そのため、教育効果はこちらが期待するほどのものが得られなくなってきました。

しかし敬語を場に合わせて上手く使い分ける会話術は、短期間でマスターできるものではありません。どのように取り組もうかと思案していた時に、この日本語検定の案内があり、直ぐに受検を決めました。結果、全国一律の客観的評価を受けたことで、日々の言葉遣いの間違いを指摘しても、学生は素直に聞き入れるようになり、実習前のセミナーもスムーズに流れ、本番でも患者様と話すのは楽しいという感想を持つ学生が増えました。

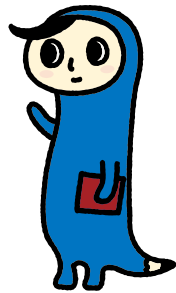
今では、“敬語”だけでなく“文法”“語彙”と学習の範囲が広がっており、自分の想いや考えを伝えるには、正しい日本語が必要だということを学んでいます。自分たちが患者様に提供する技術も、正しい日本語で説明がなされるとどれだけ効果が増すか、彼らは、これから現場で味わうことでしょう。

にほごんになかまが増えました!



にほごん

日本語のもつ美しいひびきから
生まれたなぞの生き物。
性格はすなおでがんばり屋さん。
好物はおだんご。



おっくん



ごいどん



ことは



ごろん



てんまる

日本語検定公式キャラクター
「にほごん」に楽しいなかまが
増えました!
ますますパワーアップした
にほごんたちにご期待ください。

LINEスタンプも発売中!



時事通信社の専門情報誌

60 年余にわたる実績と信頼

内外教育 厚生福祉 地方行政 税務経理 金融財政Business

週2回お手元にお届けします

●内外の一流執筆陣、第一線記者らの的確な解説と迅速な情報
●実務家のためのノウハウ、実例を満載、資料・データも豊富

時事通信社 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 お問い合わせは 業務局 事業部 jig yokikaku@grp.jiji.co.jp

教育における能力と可能性を導く最前基地となることを目指して
さまざまなシーンをサポートしてまいります!

学力調査 特別支援教育 教育シンポジウム 教育機関誌
意識調査 体力テスト 授業評価 教員研修 学校評価

エデュフロント 企画・制作・コンピュータ処理・運用 監学調査エデュフロント

本社 〒114-0004 東京都北区堀船2-17-1
Tel: 03-5390-7568 Fax: 03-5390-7583
http://www.edufront.co.jp/

未来を見据えて
進化し続ける

教育の印刷・信頼の技術
株式会社リーブルテック

本社: 〒114-0004 東京都北区堀船1-28-1 tel: 03-3927-6411 (代)
工場: 〒347-0004 埼玉県加須市古川2-3-1 tel: 0480-68-4761
http://www.livretech.co.jp/

平成30年度
第1回
日本語検定
受検案内

[一般会場] 6月9日(土)
[準会場] 6月8日(金)・9日(土)
[申込期間] 3月1日(木)～5月11日(金)
[実施都市] 全国の約84都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検時間	受検の目安						
				社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	社会人上級レベル	6,000円	60分							
2級	大学卒業レベル～ 社会人中級レベル	5,000円								
3級	高校卒業レベル～ 社会人基礎レベル	3,500円								
4級	中学校卒業レベル	2,000円	50分							
5級	小学校卒業レベル	1,500円								
6級	小学校4年生レベル	1,500円								
7級	小学校2年生レベル	1,400円								

公式ホームページ <https://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

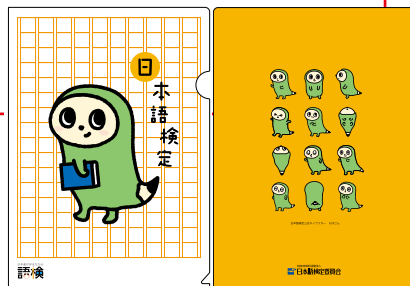
問題: 今回にほんごに増えたのは何でしょうか?

○の部分に補って完成させてください。

「な○ま」

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先(お電話番号またはメールアドレス)を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成30年7月2日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。)



特定非営利活動法人
日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

【お問い合わせ先】 0120-55-2858

<https://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成30年春号 (No.23)